

議会だより

定例会

令和3年第1回定例会は3月9日に招集され、提出された案件を審議し16日に閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

■ 調査期日 12月22日

■ 調査事項 地域公共交通について

■ 調査結果 指摘事項なし
今後の経過を見ていく

■ 調査期日 1月22日

■ 調査事項 町道及び公共施設等の除排雪状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

■ 調査期日 2月22日
2月25日

■ 調査事項 令和2年9月14日に発生した永楽園利用者の転倒事故についての現在までの状況について

■ 調査結果

① 令和2年9月14日から10月

22日までの看護体制の不備
② 10月22日から現在（令和3年2月25日）までの管理者体制状況

■ 調査期日 3月1日

■ 調査事項 財政状況について

■ 調査結果 指摘事項なし

諮問

○ 人権擁護委員の候補者の推薦について
藤井 光子 氏（再）

同意可決

○ 北竜町表彰条例に基づく表彰について
三崎 正義 氏
川田 日出子 氏
中島 則明 氏
石井 保夫 氏

原案可決

○ 北竜町過疎地域自立促進市町村計画の変更について

○ 北竜町議会議員及び北竜町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

○ 北空知衛生施設組合規約の

一部を変更する規約について
○ 令和2年度北竜町一般会計補正予算（第14号）について
既定予算から44,030千円を減額し、予算総額を4,013,343千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
既定予算から24,192千円を減額し、予算総額を311,012千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第4号）について
既定予算から2,600千円を減額し、予算総額を99,741千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について
既定予算に15千円を追加し、総額を37,985千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第3号）について
既定予算に45,667千円を追加し、予算総額を

287,111千円とする補正予算
○ 令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第6号）について
既定予算から9,902千円を減額し、予算総額を448,250千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算（第4号）について
既定予算から1,516千円を減額し、予算総額を112,693千円とする補正予算

○ 令和2年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第5号）について
収益的収入で、2,930千円を減額し、総額を67,530千円とする。収益的支出で、3,319千円を減額し、74,914千円とする。資本的収入で、17,643千円を減額し、100,794千円とする。資本的支出で、15,603千円を減額し、109,605千円とする。

○ 北竜町地域公共交通計画の

既定予算に45,667千円を追加し、予算総額を

既定予算から45,667千円を追加し、予算総額を

既定予算から45,667千円を追加し、予算総額を

既定予算から45,667千円を追加し、予算総額を

既定予算から45,667千円を追加し、予算総額を

策定について

○北竜町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

委員会報告

予算審査特別委員会

■調査期日 3月11日、3月12日

■審査事件 令和3年度会計予算（8会計）、北竜町職員等の旅費に関する条例の一部改正について 外

■調査結果 文書による指摘1件、口頭による意見4件を付与し、原案通り可決すべきものと決定する。

原案可決

- 北竜町職員等の旅費に関する条例の一部改正について
- 非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正について
- 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 職員の給与に関する条例の一部改正について

○北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について

○北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について

○北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について

○北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正について

○北竜町介護保険条例の一部改正について

○北竜町指定地域密着型介護サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について

○北竜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について

○北竜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について

○公の施設に係る指定管理者の指定について（サンフラ

ワーパーク施設）

○令和3年度北竜町一般会計予算について
予算総額3,711,000千円とする

○令和3年度北竜町国民健康保険特別会計予算について
予算総額312,000千円とする

○令和3年度北竜町立診療所事業特別会計予算について
予算総額101,300千円とする

○令和3年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について
予算総額38,600千円とする

○令和3年度北竜町介護保険特別会計予算について
予算総額285,000千円とする

○令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について
予算総額438,700千円とする

○令和3年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について
予算総額114,000千円とする

○令和3年度北竜町簡易水道

事業会計予算について
予算総額170,808千円とする

追加議案

○令和2年度北竜町一般会計補正予算（第15号）について
既定予算に699千円を追加し、予算総額を4,014,042千円とする補正予算

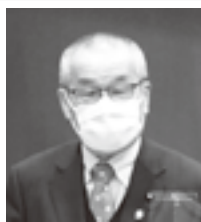
意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○「コロナ禍における地域経済の活性化と米価暴落対策」を求める意見書

一般質問

3月9日に開会された第1回定例会では、2名の議員から2件の一般質問がありました。



中村議員

農業後継者対策について

中村議員

近年は新規就農や親元就農について低迷している状況にある。現在、本町においては後継者対策として様々な取り組みがされているが、現状と見通しについての見解を伺い

たい。

①ひまわりバンク育成基金は、積み増しをしての運用がされているが、近年の運用活用についての状況と今後の見通しについて。

②農業体験事業については、

根幹にある成婚まで行き着く場合もあるが、成果が上がっていないのではないかと。今後、どのように進めていくか。

③結婚相談会を開催しているが、相談に来る人はいないと聞くと今後の対策について。

佐野町長

ひまわりバンク育成基金は令和元年から3年度にかけて、基金の3分の1を農家分、3分の2を町が積み増しして事業を継続していくこととなった。就農祝い金・結婚祝い金やパートナリーフレッシュ事業等、年により事業費の増減はあるが、年間300万円程を見込み、今後10年間継続できる見通しとなっている。今後も本町の担い手育成のため内容の見直しを行いながら事業を実施していきたい。

農業体験実習生は、ここ数年、毎年希望者の受入れを行っている。受入れの目的は、あくまで「農作業の体験を通じて、農業に対する理解と関心を持ってもらう」こと。ご縁があつて後継者と結ばれる方、雇用就農等に就かれる方もいる。受入れ農家の方々に

は趣旨を理解頂きながら積極的に受入れを行っていく。

結婚相談所については、来場者がいない状況が続いており、協議した結果新しい事業に取り組むこととし、「オンライン婚活」や「マッチングアプリ」の活用等、結婚相談員と協議し、今後は時代に即した後継者のパートナー対策を進めていく。

中村議員

ひまわりバンク育成基金については検討する必要があるのではないかと。

奨学金制度も、農業を継ぐために農業関係大学に進学後、志が変わる場合があり、その際奨学金を一括返還となっているのが分割返納にはならないかと。

卒業後、他の職に就いて暫く後に就農しようと思っても、即、返還しなければならぬが、その場合猶予期間を設け、就農しない場合に一括返還ということにならないか。また、希望者が少ないと聞いており見直しが必要ではないか。補助事業等においても、後継者がいても優遇され

るものはほとんどなく、就農祝い金があるから、ではなく何らかの措置を考慮してほしい。

佐野町長

ひまわりバンクについては平成5年、1億円を積んで利息5パーセント、年間500万円で運用しようとしていたが、1年目から金利が下がった。祝い金等の金額は下げたが継続している。当面10年間は大丈夫であるが、関係者で状況を見ながら協議していきたい。

奨学金の趣旨はあくまで就農であるので、就農しない場合は償還してもらう。

中村議員

農作業だけでなく、J A女性部、フレッシュミズとの交流や農産加工グループ等と連携し、体験交流や文化団体等の活動、北竜町の様々な活動体験が必要である。

結婚については農業後継者のみならず、商工や役員職員など多くの対象者がいる。今後、結婚対策についてはオンライン婚活等の活用を進めていくとのことだが同様なAI

婚活を取り入れてはどうか。国も補助制度を実施しているようである。成婚率の高い取り組みをしてほしい。

佐野町長

交流の機会を多く作り、一



尾崎議員

移住定住対策について

尾崎議員
人口減少による交付税をはじめ、歳入における財源確保に関して危惧している。現状はふるさと納税に依存する比率が高いが、本来自治の基本となる交付税の増収対策を取るべきではないか。個人の所得を上げること、また法人の事業を充実させることで、地方自らの財源である交付税対策についてどうあるべきか伺いたい。

また、執行方針で移住・定住対策として地域おこし協力隊、並びに集落支援員の活用について述べているが、人口

組でも多く成婚できるようにしていきたい。

これまでも出会いの場での成婚もあるので十分協議していく。

が一人でも増える対策としてどのような起業を考えているのか伺いたい。

佐野町長

歳入の状況は令和元年度決算において地方交付税をはじめ、国・道の補助金や地方債等の依存財源が約70%を占め、自主財源の町税は約4%、自主財源合計は約30%である。

また歳入の35%を占める地方交付税は人口減少などの影響で減少傾向にあり、不足を国・道の補助金の活用、ふるさと応援基金や地方債の活用により確保している状況である。

今後行財政改革に努める一方、将来に向けた持続可能な基盤の構築を図るため、移住・

定住対策や新規就農者の育成・確保対策、ブランド化の促進と販売ルート拡大、観光・特産品PRを通じた町の魅力や価値を広く発信する等、各種施策を一体的に実施するとともに、町税の徴収率の向上や税率改正、使用料改訂、ふるさと応援寄付金確保、基金債権の効果的運用、新たにクラウドファンディング活用等検討したい。

また、移住・定住促進策は安心・安全な農産物生産の「ひまわりの北竜町」を強くPRし、後継者の育成や各種イベントでも力を入れ、令和3年度の地域おこし協力隊はキャリアを活かした活躍に期待し、終了後も町内での起業アドバイスに努めたい。

尾崎議員

ふるさと納税は今年度見込み額が5億9,647万円とのことで加速が期待されるのは喜ばしい。しかしそれと共に町民が直接潤う恩恵を感じられるような対策を考える必

要があるのではないかと。

佐野町長

本町の返礼品は90%以上がひまわりライスで、振興公社が買うことで経費の掛からないお米として、ひまわりライスを生産組合としても町としても、更に生産者にもかなりの金額を潤いとして還元している。地元の農産品しか使っていないのが北竜町の特長である。

尾崎議員

東川町は人口8,328人のうち56.6%が移住者である。東川町の場合移住への流れは「応募↓調査↓見込んだ店を誘致↓空き家は斡旋する程度で町が改修し引き渡す」という「投資型」。北竜町は町側が希望する目標や目的に沿って、応募する人を限定する「雇成型」であるかと感じる。

通告では「一人でも」と増える対策の質問であったが、移住した結果どうだったのか触れていない。以前の一般質問で原因の調査やメンタルサポートの必要を伝えたが、どのように工夫したか、以前と

は変わった取り組みはあるのか伺いたい。

佐野町長

東川町では最近限事務所が設立されて意見交換もされ、受入れ体制も充実しているが、本町としてはなかなか追いついていないのが現状。メンタルサポートは集落支援として就農推進員を配置して悩みや問題について寄り添ってもらっており、しばらくその旨見届けていきたい。

活動報告

【4月】

- 9日：総務産業常任委員会
- 12日：空知町村等監査委員協議会役員会（監査委員）
- 26日：空知町村議会議長会役員会
- 27日：例月出納検査（監査委員）
- 28日：議会運営委員会、令和3年第2回北竜町臨時会

活動予定

【5月】

17日：北竜町開拓記念式並びに北竜町表彰条例に基づく表彰式

25日：北海道町村議会議長会理事会

下旬：例月出納検査（監査委員）、北空知議長連絡協議会総会、空知町村等監査委員協議会総会（監査委員）



議員

コラム

今年度北竜町全般に光回線が網羅され、インターネットの通信環境が格段と良くなる。昨年までは和地区の限られた地域だけであったが、今後は町民全ての人々が求めれば利用できるようになる。

コロナ禍で全国的に在宅勤務が奨励され多くの企業を取り組んでいる。コロナ終息後もこの取り組みが定着し田舎でも仕事ができる

今回の光回線布設経費は1億8千万円。半分が町、残り半分はNTTの負担となっている。町の負担分はコロナ臨時交付金で賄われることがなんとも複雑な思いである。

（小松正美）



■ 議員の賛否の公表

(北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています)

令和3年第1回定例会 (会期：3月9日～16日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町表彰条例に基づく表彰について(4名)	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町過疎地域自立促進市町村計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町議会議員及び 北竜町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北空知衛生施設組合理約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町一般会計補正予算(第14号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第6号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町地域公共交通計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和2年度北竜町一般会計補正予算(第15号)について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 2件	質疑 0件	質疑 2件	質疑 0件	質疑 5件	質疑 1件	質疑 0件	-

予算審査特別委員会 (3月11日～12日)

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	中村	尾崎	北島	小松	小坂	松永	藤井	佐々木
北竜町職員等の旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
非常勤職員の報酬及び費用弁償支給に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び 費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○

次ページに続く

北竜町奨学資金貸付基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町特別奨学資金貸付基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町指定地域密着型介護サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（サンフラワーパーク施設）	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和3年度簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
決算委員会における質疑の件数	質疑 9件	質疑 7件	質疑 4件	質疑 6件	質疑 5件	質疑 14件	-	質疑 3件

予算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
『庁舎前緑地の整備について』 消防庁舎前の敷地を整備することだが、その工事に合わせ、合同庁舎前の緑地についても、駐車場確保と冬期間の除雪を効率的に行うため、整備について検討をいただきたい。	建物も古くなり何も無いから残していきたいと強い願望もあったが、庁舎内で検討を行いたい。
『高齢者運転免許証自主返納に係る送迎助成について』 免許証返納時の高齢者の交通確保について、高齢者単独世帯も多いことから交通費の助成等について検討をいただきたい。	交通費の助成と本制度の内容も合わせて、前向きに検討したい。
『奨学資金貸付事業について』 現状、借主は学生か親となっているが、学生とし、保証人については現状3名必要となっているが、2名になるよう検討をしてもらいたい。保証人を立てる時期についても、借入前にするよう検討をいただきたい。	教育委員からも話が出ているところでもある。返済の滞納防止になっているところではあるが、前向きに検討していきたい。
『ひまわりの里展望台基本設計について』 ひまわりの里基本計画の町民説明は、コロナ禍も有り現在まで開催されていない状況にあるので、早急に開催されたい。 ひまわりの里展望台基本設計についても、専門委員会での検討を経て、町民説明を開催し、しっかりと町民の意見を聞いてから基本設計に入っていきたい。	専門委員会のメンバーが固まったので、早急に検討委員会を開催していきたい。又、そこで話された内容を田植えが終わったら各町内会の団体等色々な集まりの中で説明会を開催ししっかりと説明していきたい。